

常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

令和2年度一般会計予算（総務委員会所管部分）を可決

総務費において、新たな消費の拡大など、交流の産業化を推進する民間事業者の取り組みを支援し、交流の産業化を加速させていくため、補助金を交付するとともに、事業効果を高めるため、有識者等による伴走型支援を行う交流の産業化リーディング事業費が計上されました。

委員会では、大きな成果があった「長崎」×「キングダム」青年団体から始まる新しい地域プロモーションが2年目に実施できなかった理由、支援する事業の期間延長や補助金額の増額を行う考えについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、新幹線西九州ルートや出島メッセ長崎に関する歳入については認められないことなどの反対意見が出されました。一方、交流の産業化リーディング事業費は、成功・失敗に関わらずしっかり検証しながら取り組んでほしい、市民生活向上のために、極力執行残をなくし、速やかな予算の執行と事業の推進に努めてほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

教育厚生委員会

令和2年度一般会計予算（教育厚生委員会所管部分）を可決

教育費において、学校給食の献立内容及び食物アレルギー対応の充実、老朽化した施設の集約化を図るため、（仮称）長崎市三重学校給食センターを整備する学校給食施設整備事業費が計上されました。

委員会では、学校給食センターの名称を北部地区全体を包括する名称にする考えについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、学校給食センターの建設が決定した今でも市民への周知の予算が計上されており、まだ市民の合意を得ていると言えないと思われることから認められないなどの反対意見が出されました。一方、学校給食センターの建設に当たっては、地元住民に丁寧な周知を行ってほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。



▲学校給食センターイメージ図

環境経済委員会

令和2年度一般会計予算（環境経済委員会所管部分）を可決

商工費において、長崎市版DMOの形成・確立を推進するため、長崎国際観光コンベンション協会が実施する（仮称）DMO事業計画の策定、インバウンドプロモーション、MICE誘致プロモーションの取り組みについて支援する「DMO推進費」が計上されました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症の患者拡大の懸念がある中で、海外へのプロモーションやセールスを状況に応じて展開することや、長崎市版DMOの活動内容を市民にわかりやすくする取り組みを行う考えの有無について質すなど、慎重に審査しました。

その結果、長崎市版DMOの設立から4年が経過しているが、未だに具体的な成果を示すことができていないことから認められないなどの反対意見が出されました。一方、市と日本版DMO法人である長崎国際観光コンベンション協会との役割分担を明確にして、交流人口を増加させる機運を醸成してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

建設水道委員会

令和2年度一般会計予算（建設水道委員会所管部分）を可決

総務費において、恐竜博物館の建設に伴い、こども広場や駐車場などの周辺施設を整備する野母崎田の子地区再整備に係る事業費が計上されました。

委員会では、用地取得及び建物補償に係る地権者との交渉の進捗状況、こども広場の遊具等のデザインの選定に際し、子どもたちや保護者の意見を取り入れる考えの有無、既存の公衆トイレの解体後に新たなトイレを整備する考えについて質すなど、慎重に審査しました。

その結果、完成後の臨時駐車場の確保及び国道499号の渋滞対策を検討してほしい、野母崎までの海上輸送など観光振興に結び付けるような対応も今後検討してほしいとの要望を付した賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲駐車場側からみた整備イメージ